

ワークショップの様子

写真：（参加者どうしの意見交換）



写真：（グループワークシート）



写真：（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）
<p>環境が良く住みやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者、自転車目線で楽しめる環境 ・海が近く釣りに行ける ・高齢者に便利な交通がある（路線バス） ・4万トン付近はウォーキングに最適 ・ニュータウンの下水の完備 ・車の事故が少ない ・静かなまち ・野球場、グラウンドがある（あいさい緑地） ・海岸道路がとても景色がきれい（海岸線） <p>海産物おいしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜揚げがおいしい ・アジ、サバの釣りが楽しめる海の環境 <p>漁業・農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業がさかん（パッチ網漁船が県下一の数） ・農業がさかん <p>防災・耐震、防災の安心感がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震強化岸壁「赤石埠頭」 ・道路（幹線）が広い <p>自衛隊がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目印、ランドマークとしての自衛隊 ・財政のメリットがある <p>コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民のきずなが深い 	<p>都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が悪い（舗装劣化） ・交通の弱点が存在（太田橋に一点集中など） ・再度フェリーポートを発着してほしい ・排水が悪いため悪臭、腐敗臭 ・和田島坂野線の用水路はごみが多く困っている <p>地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいとイベントがない ・イベントの空間、予算がない ・ボランティア活動が知られていない（市の協力がほしい） ・働く会社が少ない ・地場産業が振るわない（漁業） ・飲食店がほとんどない <p>防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台が少ない、避難場所が少ない（津波） ・津波に自衛隊のバックアップがあるか心配 ・防潮堤が古い（防災・津波が心配） ・防災視点で道路が未整備、バイパス化（道路の建設） ・浸水が多い <p>交通が不便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行が2時間に1回 ・駅から遠い、駅までの交通手段 ・高齢者の方の買い物不便 <p>和田島の北部について通信が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠見では携帯がつながりにくい 	<p>和田島の特性を活かしたヒトモノづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観美を県外にPR ・新しい海洋事業、観光事業の開発 ・レジャー船の係留で活性化できる ・貯木場の有効利用 ・漁業と観光の共存共栄化 ・産直レストラン、産直市場 <p>防災のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の心配が少ない海が近いまち ・災害に強いまち ・防災タワーをランドマークにしたまち ・海岸沿いに防災タワーを設置 <p>水産業、農業のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業、農業を活用したまちづくり ・6次産業化（きずなを活かして） <p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが多く集まれる場所づくり ・子育て世代の増加 <p>まちづくりの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の力を集結したらもっと伸びる（協働） ・まちづくりの話し合いが続くことが大切 <p>高齢者にやさしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動手段が大切（循環型バス） ・公営バスの小型化